

科目名 家庭基礎

単元名 A 人の一生と家族・家庭及び福祉

内容のまとめり (4)高齢者の生活と福祉

1 単元の目標

- (1) 高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解するとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。
- (2) 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴、高齢者と家族のかかわり、高齢者の尊厳と自立支援、介護保険制度と介護をめぐる課題について理解しているとともに、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。	高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、自分事としてとらえて課題を設定し、解決方法を検討し、論理的に表現して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、主体的に取り組んで理解を深めたり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

3 指導と評価の計画

時間	【ねらい】・学習活動	重点	記録	備考（・は評価規準（ ）は評価方法
<p>【単元全体を貫く課題】高齢者の生活や高齢者の心身について理解し、人生100年時代を生きるための課題と改善策を考える。</p>				
1	<p>【ねらい】高齢者インタビューを通して高齢者の生活や困っている事を知り、改善したいことや、自分の今の生活と高齢期の生活をどのようにしたいか考えをまとめることができる。</p> <p>・高齢者インタビューよりジグソー法で身近な高齢者の方の生活や困っている事、不安な事を知る。</p> <p>・困っている事や不安な事で改善したいことや、自分の今の生活と高齢期の生活をどのようにしたいか考えをまとめる。</p>	<p>態 ①</p> <p>思 ①</p>	○	<p>・発表内容を記録し、理解を深めようとしている。</p> <p>・困っている事や不安な事で改善したいことや、自分の今の生活や高齢期の生活をどのようにしたいか考えを自分なりにまとめている。</p> <p>(ワークシート 行動観察)</p>
2	<p>【ねらい】日本の高齢社会の現状や加齢に伴う高齢者の心身の変化と特徴を理解する。</p> <p>・日本の高齢化率や高齢社会の現状や課題、高齢者の心身の特徴を理解する。</p>	<p>知 ①</p>	○	<p>・日本の高齢化率や高齢社会の現状や課題、高齢者の心身の特徴を理解している。</p> <p>(ワークシート 定期考査)</p>
3 4 5	<p>【ねらい】高齢者と家族のかかわり、経済生活、介護保険制度について理解する。介護をめぐる課題について考えることができる。認知症について理解し、接し方を考え、実践しようとするすることができる。</p> <p>・高齢者と家族のかかわり、経済生活、介護保険制度について理解する。</p> <p>・ロールプレイを通して高齢社会における福祉や介護のあり方を考える。</p> <p>・認知症サポーター養成講座を通して認知症について理解し、認知症の方への声のかけ方や対応について自分ができることを考える。</p>	<p>知 ②</p> <p>思 ②</p> <p>態 ②</p>	○	<p>・高齢者と家族のかかわり、経済生活、介護保険制度について理解している。</p> <p>・ロールプレイを通して話し合ったことや福祉や介護をめぐる問題について自分の考えをまとめている。</p> <p>・認知症について理解を深め、認知症の方への声のかけ方や対応について自分ができることを考え、実践しようとしている。</p> <p>(ワークシート 定期考査 行動観察)</p>

6	<p>【ねらい】高齢者の困りごとについての改善策を意見交流し、高齢期の自分や社会はどうありたいか、そのために準備しておくことや大切なことを考えることができる。</p>			
本時	<p>・高齢者インタビューより高齢者の困りごとについて改善策をグループで意見交流し、50年後、自分はどのような高齢者になるのか、どのような社会であって欲しいか、理想の高齢期やそのために準備しておくことや大切なことを考える。</p>	思 ③	○	<p>・困りごとについての改善策をグループで意見交流し、高齢期（50年後）の自分や社会について、理想の高齢期を表現しそのために準備しておくことや大切なことをまとめている。 (ワークシート 行動観察)</p>

【参考資料】

「家庭基礎 気づく力 築く未来」 実教出版

「図説 家庭基礎」 実教出版

「秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要第38号2016年」 佐々木信子著

「ゆきちゃんは、ぼくのもだち！」 武田美穂作・絵 株式会社童心社

「ばあばは、だいじょうぶ」 楠章子作 いしいつとむ絵 株式会社童心社

4 学習活動と評価方法（学習指導案）

科目名	家庭基礎		指導クラス	1年1組
単元名	人の一生と家族・家庭及び福祉		使用教科書	家庭基礎 気づく力築く未来 実教出版
本時の主題	高齢者の困りごとについての改善策を意見交流し、高齢期の自分や社会はどうありたいか、そのために準備しておくことや大切なことを考える。（6時間目／6時間）			
指導観	人生100年時代、高齢期をどのように生きるのか、日本の高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴を理解させ、将来の自分の高齢期に向けての生き方と家族や地域社会の高齢者とともに生きるために大切なことを考えさせたい。			
本時の目標	・高齢者の困りごとについての改善策をグループで意見交流し、人生100年時代を生きるために、高齢期（50年後）の自分や社会について理想の高齢期やそのために準備しておくことや大切なことを考えよう。			
過程	指導内容	生徒の学習活動	評価規準と評価方法	指導上の留意点
導入 5分	1 本時の学習	・本時の学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。		・本時の学習目標と進め方につなげる。
	高齢者の困りごとについての改善策を意見交流し、高齢期（50年後）の自分や社会について、理想の高齢期やそのために準備しておくことや大切なことを考えよう。			
展開 35分	2 高齢者がかかえる課題 3 改善策 4 高齢期の自分と社会	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマで高齢者インタビュー（2回目）をし、高齢者の困りごとや今後不安なことについて自分が考えた改善策をグループで発表し、課題を共有する。 あると良いと思うイベントや移動手段、施設や利用方法など改善策につながる情報を、調べ、意見交流し、アイデアを出し合う。 クラスで伝えたい困りごととその改善策を発表する。 50年後の自分と社会の理想の高齢期についてマインドマップ風にまとめる。 	<p>評価規準</p> <p>【思考・判断・表現③】</p> <ul style="list-style-type: none"> 困りごとについての改善策をグループで意見交流し、高齢期（50年後）の自分や社会について理想の高齢期を表現し、そのために準備しておくことや大切なことをまとめている。 <p>ワークシート 行動観察</p>	<p>〈Bを実現するための指導〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目の高齢者インタビューでグループ交流した授業を確認したり、本時の各グループの改善策の発表を取り入れて、理想の高齢期をマインドマップ風書き出し、考えを整理する。 <p>〈Cへの手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者インタビューのとき買い物はどうしているの？ 毎日行くの？ 移動は困らない？ 大雨が降ったときは不安でしたか？ など、自分が想像して困ったり不安だと感じる質問をし、改善策を考えるヒントにする。
まとめ 整理 10分	5 人生100年時代を生きるために（本時の振り返り）	・将来の自分はどのような高齢者になりたいか、高齢期に生きがいを持つために準備しておくこと、家族や地域社会の高齢者とともに生きるために大切なことについて、考えをまとめる。	〈Aの例〉	・健康に過ごせるように食生活に気を付けたり、運動をする。生きがいにつながる趣味や人間関係をつくる。住んでいる地域の高齢者福祉を調べ、利用内容を理解する。

5 成果と課題

■実践後の評価結果

思考・判断・表現

	学習活動における 具体的評価規準 (B)	「十分満足できる」と 判断される状況 (A)	「努力を要する」と 判断される状況 (C)
評価	・困りごとについての改善策をグループで意見交流し、高齢期（50年後）の自分や社会について、理想の高齢期を表現し、そのために準備しておくことや大切なことをまとめている。	・困りごとについての改善策を記録しながらグループで意見交流し、高齢期（50年後）の自分や社会について、理想の高齢期を具体的に表現し、そのために準備しておくことや大切なことを様々な視点でまとめている。	・困りごとについての改善策をグループで意見交流できなかつたり、高齢期（50年後）の自分や社会について、理想の高齢期や準備しておくことや大切なことがまとめられなかったりしていない。
生徒の状況 (%、行動)	26% ・高齢期（50年後）の自分と社会の理想の高齢期をマインドマップ風に記入できている。 ・思いつくままマインドマップ風に記入したものを、準備しておきたいことや大切に生きていきたいことについて文章にまとめている。	74% ・高齢期（50年後）の自分と社会の理想の高齢期をマインドマップ風に数多く記入できている。 ・思いつくままマインドマップ風に記入したものを、準備しておきたいことや大切に生きていきたいことについて具体的に表現し、文章にまとめている。	0%
記述例	・何でも自分でできる高齢者になりたいと思ったので、運動や貯金などの準備をしっかりとっておきたいと思った。	・健康に長生きしたいので、散歩や運動をしたり、バランスの良い食事をとったりしたい。また、楽しく生きるために、生きがいとなる趣味を見つけたり、お金の計画を立てたりしていききたい。災害時など困ったときにも助け合えるような人との関わりを大切にしていきたい。	

■成果と課題

【成果】

- ・2回目のインタビューとなり、これまでに様々な話をし、祖父母を思いやる気持ちがみられた。
- ・グループテーマで意見交流することで、高齢者の困りごとを理解でき、具体的な改善策が考えられた。
- ・各グループの発表内容を取り入れ、理想の高齢期をマインドマップ風にキーワードで書き、それを文章にすることで自分事として考えをまとめることができた。

【課題】

- ・インタビューの質問では、困りごとが詳細にわかると、改善策やアイデアも考えやすいため、台詞例をプリントで示しておくなど、深掘りして聞き出せるようにしていきたい。
- ・マインドマップ風の記入では、項目に「知りたいこと」を加えると、より深い学びにつながると感じた。
- ・発展で考えたホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動のテーマを実践につなげていきたい。

家庭基礎	第4章 高齢者とかかわる	人生100年時代を生きる	NO. 18
------	--------------	--------------	--------

◆事前学習 高齢者インタビュー

高齢者の方が今または今後、困っている、不安や不便なことと改善（予防）してあげたい内容について詳しく聞いてみよう。
 インタビュー者：自分との関係（ ） 性別（ ） 年齢（ ） 住まいの地域（ ） 市町村（ ）

グループマ「身体や健康 今または今後、困っている 不安・不便なこと」	家庭生活 改善（予防）に向けて調べたこと、考えたこと	経済 改善（予防）に向けて調べたこと、考えたこと	地域社会とのつながり 改善（予防）に向けて調べたこと、考えたこと
自分や家族で出来そうなこと	自分や家族で出来そうなこと	自分や家族で出来そうなこと	地域社会でお願いしたいこと
困りに対するあるとよいと思うイベントや移動手段、施設や利用方法など改善（予防）策につなげる情報を調べ、アイデアを考えよう。そのヒントとなった資料を記録しておこう。例）地域の市役所のHP			

1. グループテーマについて話し合い

(1) グループで困ることと改善（予防）策を発表、記録しよう。(1人1分)

名前	今または今後、困っている・不安・不便なこと	改善（予防）に向けて調べたこと	自分や家族で出来そうなこと	地域社会でお願いしたいこと
1				
2				
3				
4				
5				

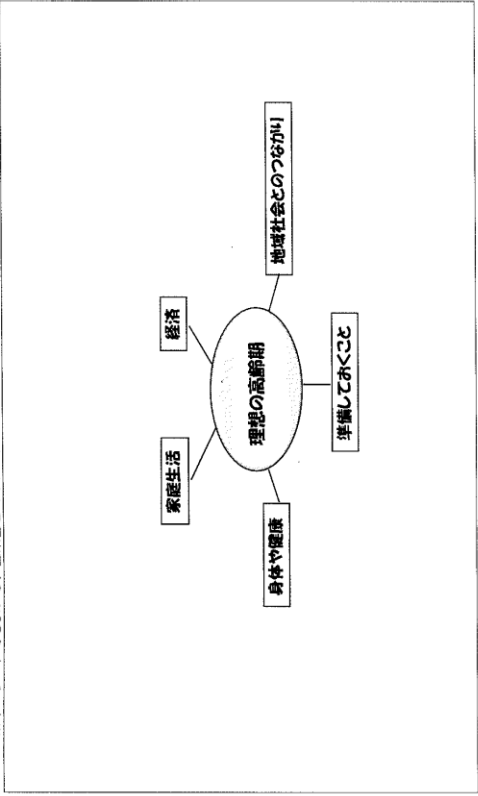
(2) クラスで伝えたい困りごとの改善（予防）策を発表しよう。(各組1分)

※困りに対するあるとよいと思うイベントや移動手段、施設や利用方法など、改善（予防）策につなげる情報を調べ、アイデアを出して、意見をまとめよう。ホワイトボードに記入しよう。

2. 50年後の自分と社会の理想の高齢期

(1) 人生100年時代を生きるために、自分はどのような高齢者になりたいか、どのような高齢期を過ごしたいか、そのために準備しておくこと、大切なことをマインドマップ風に表現しよう。

※キーワードでもよいし、顔書きでもよい。色を2色以上使う。理想の高齢期を表現しよう。



(2) どのような高齢者になりたいか、高齢期を過ごしたいか、準備しておくことや大切なことをマインドマップ風に整理してわかったこと、気づいたことを文章でまとめよう。

【発展】高齢者分野で、ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実施するとしたら、どのようなテーマにするか考えよう。

テーマ（ ）
理由

1年 組 番 名前	5	4	3	2	1	NO. 18
自己評価						評価 : 合格 再提出